平成26年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月１日

上場会社名　株式会社ヒューテックノオリン　上場取引所　東
コード番号　9056　ＵＲＬ　http://www.hutechnorin.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）松田　靫夫
問合せ先責任者　（役職名）専務取締役管理本部長　（氏名）綾　宏將　ＴＥＬ　03-3632-3434
四半期報告書提出予定日　平成25年11月８日　配当支払開始予定日　平成25年12月５日
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第２四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第２四半期	19,018	5.1	923	4.3	940	2.0	535	2.0
25年３月期第２四半期	18,087	4.2	885	△29.9	922	△29.5	525	△39.4

（注）包括利益　26年３月期第２四半期　566百万円（17.4%）　25年３月期第２四半期　482百万円（△49.6%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第２四半期	51.56	51.45
25年３月期第２四半期	50.33	50.31

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年３月期第２四半期	37,357	17,809	46.7	1,677.38
25年３月期	36,935	17,388	46.1	1,638.96

（参考）自己資本　26年３月期第２四半期　17,427百万円　25年３月期　17,028百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	－	15.00	－	15.00	30.00
26年３月期	－	14.00			
26年３月期（予想）			－	14.00	28.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

（注）25年３月期 配当金の内訳 第２四半期末 普通配当14円00銭 記念配当1円00銭　期末 普通配当14円00銭 記念配当1円00銭

３．平成26年３月期連結業績予想

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,400	5.5	2,200	35.3	2,150	30.0	1,250	35.4	120.31

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期２Ｑ	10,438,000株	25年３月期	10,438,000株
②　期末自己株式数	26年３月期２Ｑ	48,319株	25年３月期	48,319株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期２Ｑ	10,389,681株	25年３月期２Ｑ	10,431,715株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理性であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、四半期決算短信（添付資料）３ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益及び包括利益計算書 …… 6
第２四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（重要な後発事象） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間における日本経済は、現政権による経済政策への期待を背景とした円安による輸出関連企業の堅調な推移や株高による消費マインドの好転など景気回復の穏やかな兆しが見られました。一方、雇用情勢や所得環境はやや遅行しており、欧州の債務問題や中東情勢の不安、新興国経済の成長鈍化、さらには来年４月に予定されている消費税増税の影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが主軸をおく低温食品物流業界の動向におきましては、社会構造やライフスタイルの変化などを背景に、冷凍・冷蔵食品の需要が回復基調にあるものの、原材料高や海外生産拠点での人件費の上昇などの影響を受けた食品メーカーからの受託料金の抑制、また、物流業者間の価格競争、電力料金や燃油費の値上げなど、引き続き厳しい経営環境で推移しました。

このような環境の中、当第２四半期連結累計期間の営業収益におきましては、主に前年に稼働を開始した東京支店（東京都八王子市）や東京支店第二センター（東京都立川市）、京都センター（京都府京田辺市）の稼働などが奏功し、増収を確保することができました。

利益につきましては、新設支店の稼働に伴うリース資産の減価償却費や電力料金などの動力燃料費ならびに外注費の増加等があったものの、当第２四半期連結累計期間においては、新店所の立上げ費用の解消等により、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに前年同期比で微増となりました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の営業収益は190億１千８百万円（前年同期比5.1％増）、営業利益は９億２千３百万円（前年同期比4.3％増）、経常利益は９億４千万円（前年同期比2.0％増）、四半期純利益は５億３千５百万円（前年同期比2.0％増）となりました。

事業の種類別セグメントの状況は次のとおりであります。

①ＤＣ事業（保管在庫型物流事業）

東京支店、東京支店第二センターや京都センターの稼働などにより、営業収益は140億８千万円（前年同期比5.5％増）となりました。セグメント利益につきましては、新規店所の開設時に発生した安定稼働に向けての外注費や人件費の増加分が解消されたこと等により16億９百万円（前年同期比3.2％増）となりました。

②ＴＣ事業（通過型センター事業）

営業収益は取扱物量の増加等により43億７千万円（前年同期比4.7％増）となりました。セグメント利益につきましては、外注費の増加等により２億１千万円（前年同期比11.5％減）となりました。

③その他

営業収益は６億１千万円（前年同期比1.3％増）となりました。セグメント利益につきましては、１億１百万円（前年同期比0.7％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

資産、負債および純資産の状態につきましては、資産の部において、土地の増加により、当第２四半期連結会計期間末の資産合計は、373億５千７百万円（前連結会計年度末比４億２千１百万円増）となりました。

負債の部においては、195億４千７百万円（前連結会計年度末比１百万円増）となりました。

純資産の部においては、178億９百万円（前連結会計年度末比４億２千万円増）となりました。

以上の結果、自己資本比率は46.7％（前連結会計年度末比0.6ポイント増）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は17億８千２百万円となり、前連結会計年度末と比較して４千７百万円の増加となりました。

①「営業活動によるキャッシュ・フロー」

当第２四半期連結累計期間において、営業活動の結果得られた資金は、24億３千６百万円（前年同期比58.6％の収入増）となりました。これは法人税等の支払額が減少したことなどが主な要因です。

②「投資活動によるキャッシュ・フロー」

当第２四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等により、18億４千６百万円（前年同期比20.7％の使用増）の使用となりました。

③「財務活動によるキャッシュ・フロー」

当第２四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加やリース債務の返済等により、５億５千２百万円（前年同期比4.4％の使用減）の使用となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、新設支店の安定稼働による物量増加が見込まれますが、阿見センター（茨城県稲敷郡阿見町、平成25年12月稼働予定）の立ち上げ費用や年末年始の物量増への対応として外注費や労務費等の増加を見込み、平成25年５月10日に発表しました連結業績予想を以下の通り修正致します。

平成26年３月期通期業績予想数値の修正（平成25年４月１日～平成26年３月31日）　（単位：百万円）

連結	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益(円)
前回発表予想　（A）	37,850	2,350	2,300	1,350	129.94
今回修正予想　（B）	38,400	2,200	2,150	1,250	120.31
増減額　（B－A）	550	△150	△150	△100	－
増減率　（%）	1.5	△6.4	△6.5	△7.4	－
（ご参考）　前期実績（平成25年３月期）	36,411	1,626	1,653	922	88.51

※上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,994,707	2,042,124
営業未収入金	4,272,800	3,569,852
繰延税金資産	156,272	219,153
その他	414,114	383,095
貸倒引当金	△593	△476
流動資産合計	6,837,301	6,213,750
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,286,853	7,020,198
機械装置及び運搬具（純額）	1,319,810	1,276,409
土地	8,120,820	9,611,705
リース資産（純額）	10,194,786	10,073,143
建設仮勘定	－	2,700
その他（純額）	9,084	8,911
有形固定資産合計	26,931,355	27,993,069
無形固定資産	137,295	125,792
投資その他の資産		
投資有価証券	1,335,894	1,374,490
長期貸付金	590,000	575,000
繰延税金資産	394,988	396,483
その他	720,756	690,733
貸倒引当金	△12,307	△12,307
投資その他の資産合計	3,029,331	3,024,400
固定資産合計	30,097,981	31,143,262
資産合計	36,935,282	37,357,012

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
負債の部		
流動負債		
営業未払金	1,503,764	1,483,467
短期借入金	1,002,000	1,502,000
1年内償還予定の社債	248,000	248,000
リース債務	1,165,322	1,205,996
未払法人税等	284,169	495,365
賞与引当金	246,666	350,980
役員賞与引当金	28,200	13,750
設備関係支払手形	121,695	2,388
その他	1,546,301	1,226,638
流動負債合計	6,146,118	6,528,586
固定負債		
社債	868,000	744,000
長期借入金	882,000	756,000
リース債務	9,613,330	9,444,155
退職給付引当金	1,018,821	1,053,689
資産除去債務	381,062	383,520
再評価に係る繰延税金負債	469,711	469,711
その他	167,247	167,849
固定負債合計	13,400,173	13,018,926
負債合計	19,546,292	19,547,513
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,217,560	1,217,560
資本剰余金	1,392,060	1,392,060
利益剰余金	14,777,422	15,156,896
自己株式	△41,355	△41,355
株主資本合計	17,345,687	17,725,160
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67,585	87,279
土地再評価差額金	△385,039	△385,039
その他の包括利益累計額合計	△317,454	△297,759
新株予約権	12,636	24,925
少数株主持分	348,121	357,173
純資産合計	17,388,990	17,809,499
負債純資産合計	36,935,282	37,357,012

（２）四半期連結損益及び包括利益計算書
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
営業収益	18,087,031	19,018,045
営業原価	16,189,035	17,096,528
営業総利益	1,897,995	1,921,517
販売費及び一般管理費	1,012,536	998,204
営業利益	885,459	923,313
営業外収益		
受取利息	8,878	8,187
受取配当金	15,373	15,632
持分法による投資利益	18,253	23,875
その他	76,054	72,631
営業外収益合計	118,559	120,326
営業外費用		
支払利息	78,997	100,628
その他	2,254	2,044
営業外費用合計	81,252	102,673
経常利益	922,767	940,966
特別利益		
固定資産売却益	285	328
特別利益合計	285	328
特別損失		
固定資産除売却損	9,565	1,127
投資有価証券評価損	17,040	－
特別損失合計	26,605	1,127
税金等調整前四半期純利益	896,447	940,166
法人税、住民税及び事業税	401,708	463,879
法人税等調整額	△40,011	△70,541
法人税等合計	361,696	393,338
少数株主損益調整前四半期純利益	534,750	546,828
少数株主利益	9,680	11,151
四半期純利益	525,069	535,676
少数株主利益	9,680	11,151
少数株主損益調整前四半期純利益	534,750	546,828
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△51,886	19,690
持分法適用会社に対する持分相当額	△198	4
その他の包括利益合計	△52,084	19,694
四半期包括利益	482,666	566,523
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	472,985	555,371
少数株主に係る四半期包括利益	9,680	11,151

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	896,447	940,166
減価償却費	916,774	1,068,891
貸倒引当金の増減額（△は減少）	20	△117
賞与引当金の増減額（△は減少）	88,300	104,313
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△14,450	△14,450
退職給付引当金の増減額（△は減少）	47,544	34,867
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△147,093	602
受取利息及び受取配当金	△24,251	△23,819
支払利息	78,997	100,628
持分法による投資損益（△は益）	△18,253	△23,875
投資有価証券評価損益（△は益）	17,040	－
固定資産除売却損益（△は益）	9,280	799
売上債権の増減額（△は増加）	△89,277	702,947
仕入債務の増減額（△は減少）	65,668	△20,296
その他	358,862	△110,237
小計	2,185,609	2,760,421
利息及び配当金の受取額	29,752	29,319
利息の支払額	△79,831	△101,014
保険金の受取額	8,400	－
法人税等の支払額	△608,068	△252,700
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,535,862	2,436,026
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△3,959	△4,361
有形固定資産の取得による支出	△1,499,399	△1,881,753
補助金の受入による収入	－	21,831
有形固定資産の売却による収入	291	330
有形固定資産の除却による支出	△228	△1,053
無形固定資産の取得による支出	△6,365	△24,583
貸付金の回収による収入	15,000	15,000
その他	△34,224	28,528
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,528,885	△1,846,062
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	－	500,000
長期借入金の返済による支出	－	△250,000
配当金の支払額	△145,858	△155,625
少数株主への配当金の支払額	△2,100	△2,100
リース債務の返済による支出	△429,638	△644,511
財務活動によるキャッシュ・フロー	△577,596	△552,237
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△570,619	37,726
現金及び現金同等物の期首残高	2,928,552	1,734,707
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	－	9,690
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,357,932	1,782,124

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ．　前第２四半期連結累計期間（平成24年４月１日～平成24年９月30日）

１．　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	ＤＣ事業	ＴＣ事業	計		
営業収益 ①外部顧客に対する営業収益	13,334,274	4,150,403	17,484,678	602,352	18,087,031
②セグメント間の内部営業収益又は振替高	12,258	25,650	37,909	223	38,132
計	13,346,533	4,176,054	17,522,587	602,576	18,125,164
セグメント利益	1,559,279	237,596	1,796,875	101,120	1,897,995

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備業等を含んでおります。

２．　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,796,875
「その他」の区分の利益	101,120
全社費用（注）	△1,012,536
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	885,459

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

Ⅱ．　当第２四半期連結累計期間（平成25年４月１日～平成25年９月30日）

１．　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	ＤＣ事業	ＴＣ事業	計		
営業収益 ①外部顧客に対する営業収益	14,062,355	4,345,483	18,407,838	610,207	19,018,045
②セグメント間の内部営業収益又は振替高	17,956	25,310	43,266	182	43,449
計	14,080,311	4,370,793	18,451,104	610,390	19,061,495
セグメント利益	1,609,337	210,327	1,819,664	101,852	1,921,517

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備業等を含んでおります。

２．　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,819,664
「その他」の区分の利益	101,852
全社費用（注）	△998,204
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	923,313

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。